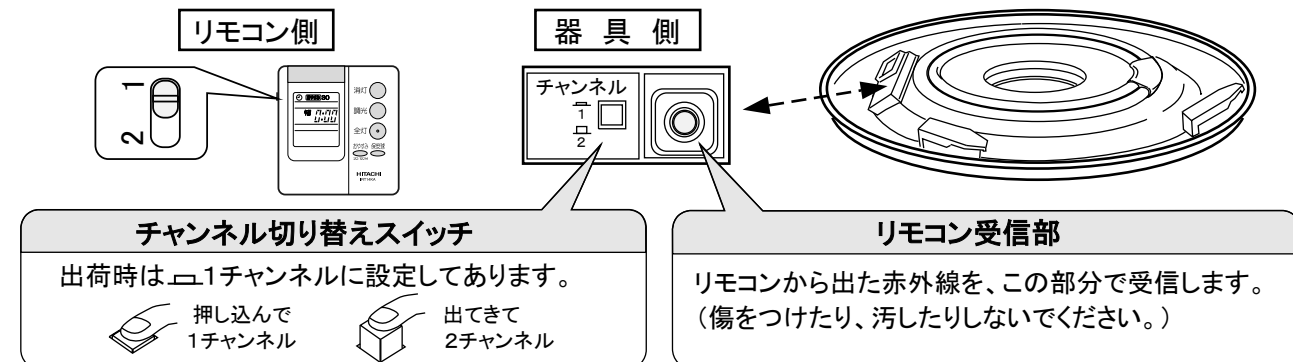


チャンネル切り替えスイッチの設定について

- お部屋で使用される台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

室内のリモコン照明器具が1台の場合

製品出荷時は、1チャンネルに設定してありますが、確認のうえ、器具側及びリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを1チャンネルに合わせてください。



室内のリモコン照明器具が2台の場合

※器具側とリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを右図のように設定することで、個別操作や同時操作ができます。但し、リモコンを置く位置や器具が離れている場合には、同時操作ができませんのでご注意ください。

	個別操作		同時操作	
	1台目	2台目	1台目	2台目
器具側	1	2	1	1
リモコン側	2 1	2 1	2 1	2 1

リモコン操作上のご注意

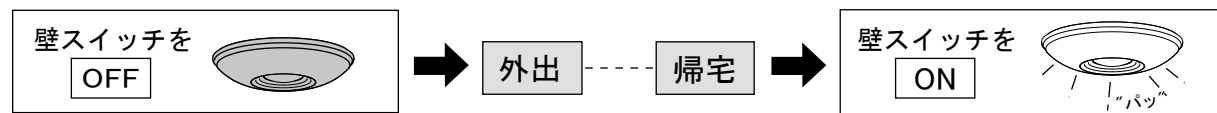
壁スイッチは **ON** にしてご使用ください。

- リモコンの送信部が汚れますと動作しにくい場合があります。きれいな布でふき取ってください。
 - リモコンと器具の間にしゃへい物がありますと、器具が動作しない場合があります。しゃへい物を避けて操作してください。
 - 天井・壁・床の色や材質によってはリモコンが動作しにくい場合があります。
 - ランプ点灯直後、リモコンでの切り替え操作ができない場合があります。
この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
 - “タイマー予約”などで使用する場合、リモコンを置いた位置から、確実に器具が動作するか確認してください。
器具の真下付近に置くことをおすすめします。
- ※乾電池が寿命になりますと画面全体が点滅します。乾電池を交換してください。

壁スイッチによる操作方法

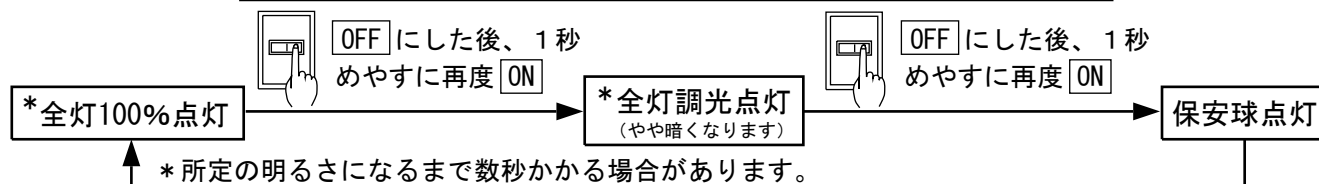
壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

- 壁スイッチを **OFF** にした後、再度壁スイッチを **ON** にしますと、消灯前の点灯モードになります。

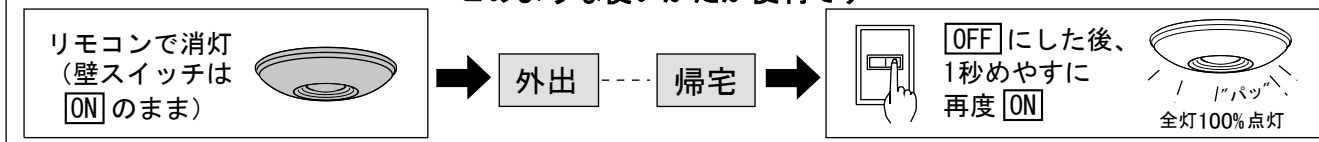


- 壁スイッチを操作することで次の点灯モードに切り替えることができます。

*壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。



このような使いかたが便利です

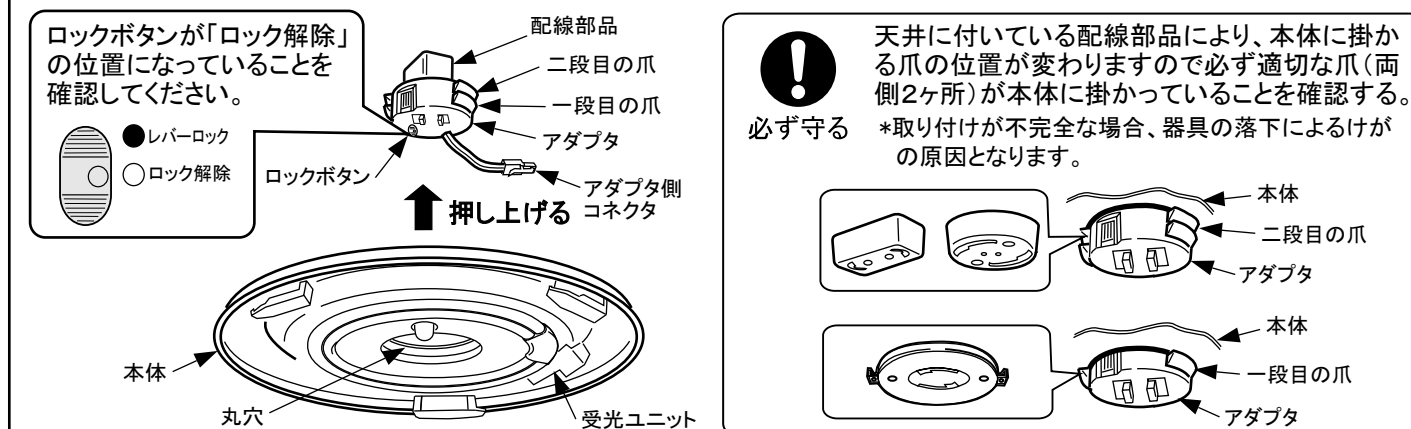


—ご注意—

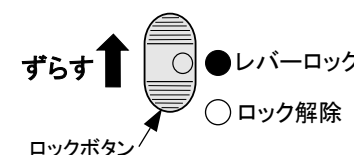
壁スイッチの **OFF** - **ON** の切り替え時間検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、**壁スイッチ操作の際は約1秒をめやすとして操作してください。** 0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードの切り替えはできません。このような場合は、約1秒間隔で **OFF** → **ON** 操作をもう一度おこなってください。

2. 本体の取り付け

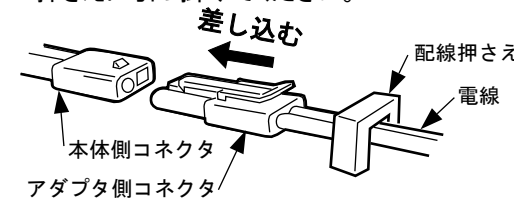
- ①リモコンをひんぱんに操作する方向に受光ユニットが向くように本体を合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。



- ②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。



- ③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。

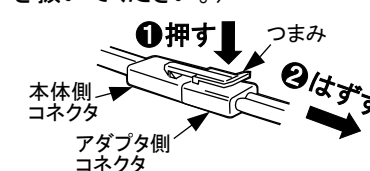


コネクタや電線をむりやり引っばらない。
*電線が断線し、感電、故障の原因となります。

本体をはずす場合

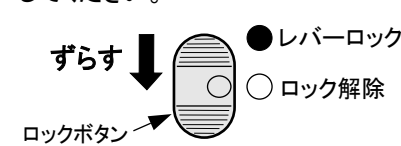
- ①電源を切ってください。(壁スイッチを **OFF** にしてください。)

- ②コネクタをはずしてください。(アダプタ側コネクタのつまみを押しながら引き抜いてください。)

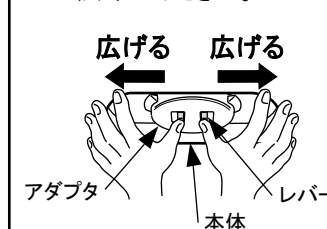


コネクタや電線をむりやり引っばったりしない。
*電線が断線し、感電、故障の原因となります。

- ③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。



- ④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー(2ヶ所)を外側に広げてください。



本体が落下してきますので確実に本体を支えながら作業する。
*手を離しますと本体落下によるけがの原因となります。

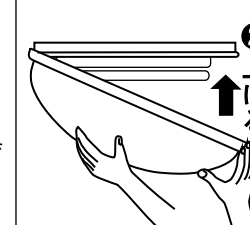
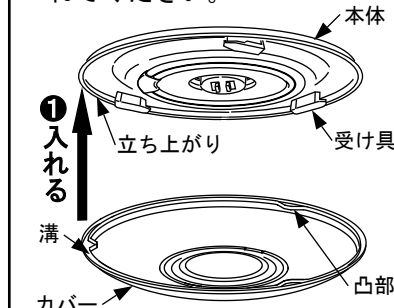
- ⑤アダプタをはずしてください。(ボタンを押しながら左方向に回してください。)



ボタンを押さずにアダプタをむりやり回さない。
*配線部品の破損の原因となります。

3. カバーの取り付け

- ①カバー凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせ、カバーの溝を本体の立ち上がりに入れてください。
- ②反対側を押し上げてください。
- ③中央をささえながら右に回してください。



カバーを正しく取り付け後は、カバーをむりやり回さない。
*器具の破損、落下によるけがの原因となります。

取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付けられているか確認する。
*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。